S L A S H
Ren-Ai Mangaka Presents Fate/stay night Fan Book 1
For Adult Only

アートに出かけた士郎とセイバー
帰宅して遅くなると分かって
慌てて探しに行って
あのとんでもない
金ピカとやりあって
ボロボロになりながらも
改心の一撃を与えたらしい
もちろんそれは
戦いが先送りになっただけの話で
今後ますます厳しくなる戦いが
待っているわけだ
けれど
せめて今は心と身体を休め傷を
回復させなければならない
さてこの
そろそろ目を覚ますであろう士郎に
薬を持って来て…
中の様子を感じ取って
私は慌てて気配を隠した

そこには
お互いの事を
愛し合いながらも
擦れ違い続ける

とても短時間で
それ故に不器用な
二人の姿があった

セイバーを
心の底から
力の限り
激しく求める士郎

その腕に
縋り付きたいくせに
己の信念の為に
拒むしかない
セイバー

二人に残された時間は
とても短くて

だからこそ
今一瞬だけでも
繋がる事を選んだのだろう

その姿は
とてもとても
美しかった

愛し合う二人の姿は
私の記憶を呼び起こす

アーチャー……

初めて抱かれたあの時から
何度も何度も
彼と交わった

濡れた

普段は
私がマスターで
彼がサーヴァント
だけど

セックスをする時は
彼は悪魔な優しいサドで
私は生意気なくせに
甚振られたがるマゾだった

二度目のセックスの時
「君は敏感で濡らだから
どんどん濡れやすい身体になる」
って言われた

確かに今では
ちょっとした
性的興奮で
ドロドロに
下着を汚してしまう

いやらしい身体になった

そしていつも
興奮した身体を
更に昂ぶらせるあ
目の前でオナニーをさせられた

「僕をそそらせて動たせろ」って
命令に従うあ

セックスを経験するまで
オナニーする時とか
胸は触ってもそれほど気持ち良くなかった

今はとても気持ちいい
乳首なんて軽く摘んだだけで
痛がくらくらして
下腹部が疼く

ちゅぱ

ちゅぱ

昔と変わらず今でも
フィニッシュは
クリトリスだけど
アナル周りと膣内を
たっぷりと弄ってから
じゃないと物足りない

けれど今は
あの太い指で
優しく中を
かき回された事が
懐かしく思えて

士郎とセイバーの性癖が
隠れ合って出入りしたことに
自分もあんな風に
同じ事をしていたなんて
かなりの驚きだ

一心不乱に
士郎を求めるセイバーは
この上なく可愛くて

セイバーを見つめる
士郎の目は
とても優しく
彼の目と同じだ

だったら
アーチャーは
私の事を
多少なりとも
可愛いと
思っていてくれたのかな

セイバーと士郎の絶頂を感じる
それに誘われるように私も絶頂を迎える
声を出さないように…何度かそういう状況でした事もあるけれどやっぱりつらい…
精を受け止めるその腰周りが満足げなのを見て羨ましくなる
行き場を無くした気持ち良さのパルスが身体中を駆け巡る
これから…私は一人なんだ
だからアーチャーとの事は…今の自慰で区切りを付け一先ず思い出として大切にしまっておく…

……誰
怒ってたもんな
いえ…
士郎は
大丈夫
だったみたいね
えぇ…
まぁ…

ごめんね？
寝きに来た訳じゃないんだけど

二人が…
初々しくて
可愛かったから

ついね…

それにしても…
貴方がいる事に
気付いた時は
驚きました

ふふふ…

あはは
ちょっと
気まずかったわね

でも
その お陽で

感情に流されず
自分を
律する事が
出来ました

はぁはぁ

あ、

あら

その割には
随分善がってた
みたいだけど

違っ…

終わった
後の事です…

そっか

…士郎の気持ちは
受け入れられない？

…もちろん

彼の気持ちは
素直に嬉しい

けれど

それでは
私の
存在意義が
なくなって
しまう

…もう少し
楽な生き方も
あるけどね

…そうかも
しれませんね

…まあ
答えは出ているのだし
私はもう
何も言わないから…

ぎゅっ

ぎゅっ

凛…

ぎゅっ…

私も…
セイバーに
触れたいの

ね

思い切り

貴方を気持ちよくして
感覚を共有したいから

はい…

任せます
感じさせて…

Bon-Al Mangaka Crossroads / Illustration Copyright Fair Dealing / For Adult Only

Bon-Al Mangaka Crossroads / Illustration Copyright Fair Dealing / For Adult Only

あ♥
あ♥
あああぁぁっ
クリトリスに
こんな感じだと
どうなるかしら?
あっ!
駄目です凛
そこは敏感……
ああ駄目ッ!
いいよ♡
イッちゃって!
いやらしいお汁
いっぱい出てきたわよ……♡
はぁ!
勝手に
流れ出てしまう……
私のソコって
こんな味がするの?
不思議な味で……
……例えようがないです
イッた!
でも眠り姫のって
美しくて羨ましいわ
でも羨ましいでしょ
アヌスも
随分可愛いな♡
そ、そこは……
でも
こんなの……
普通じゃありません……
んん♥
いいのよ
ロの子は
ゆ感を開ければ開くほど
ぬるぬるぼくなるんだから
……えいッ!
あっ!
指が……
まだよ
開く時のカが
強いんだから!
入ってくる……
いやぁっ!
助けて凛!
凛……んんんっ!
やだ……
セイバーの行為時の声が
可愛すぎて
あれ出ちゃうッ
名前呼ばれながらイかせるのって
なんか良いかも……♡

はい…ここに入れるのよ
クチュ
それにしても不思議だな
何かって
学内のアイドルの遠坂と…こんな事になるあ
アイドルって言ってたっけ
内緒に「内の」宝石でもこんなに…すごいなんて…なんだろね
何と言うかミルクのような遠坂
ちょっとしょっぱくて美味しいよ♪
いいよ
私の中で独特な味になってる…ねぇ
遠坂の中…凄く熱くて柔らかい
れ…溶れてきたから もうちょっと動くんだよ
こんな感じ？
あぁ それいい感じ
あ…士郎のあたたかい
こんなに熱いなんて思わなかった…
あぁ 凄い熱いよ士郎の
入っていく 遠坂の中に…
いくよ 遠坂 入れるからな…
ここ…今すぐ…
ク…

ねえ士郎…
…おっぱい見たい？
なー
何をいきなり…
こういう事は
正直に言えばいいのに
…見たい？
…見たい
男はおっぱい
好きだもんね…
はいはい
すご…
乳首勃起になってる…
男はオナニーする時は
まず乳首からするの…
だって
強くほっぱっちゃいのよ？
うわ…すげぇ…
綺麗だな…
ふふ
士郎は可愛いなぁ
もっと
何だよそれ…
ちっとも嬉しくないぞ
おっぱいを見た瞬間
ケンの硬くなったら
あちゃんちゃん
通販は…
まるんだな…
そりゃ…
通販の胸を見せられたら
誰だって大きくなるよ
そこは…
してないのか？
うん…
士郎
どうやって
士郎のおちんちんに
愛されながら
乳首弄ってるから…
女性オナニーする時は
士郎の事を思い出しながら
しちゃうと思う…
一人でする時より
いっぱい出るなぁ…
でもセイバーには
もっと沢山あげないとな…
ふふ
士郎
ねぇ？♪
ん…んんん……んっ！
あ
出てる…
中で出されるのって
心が満たされちゃうな…
すごくても嬉しい…
士郎の精液と私の愛液を
いい具合に混ぜてから
セイバーにあげなくちゃね…

凛…一人で慰めるのは もう限界です…

シロウの指をアマい… 凛とシロウを感じさせて…

あぁ… ご満んなさいセイバー 俺ってダメな奴だよ 凛だけは 俺だけのものだよ

はい 貴方の熱の指輪よ 嬉しさで心に飲んでね

これは…… 魔力も精力も凄いです 凄く…凄いですね…

もう こんなに濡れてしまいました いつでも受け入れられます…

ふふ… 嬉しすぎなんて 他の人に知られちゃ駄目よ 淫乱だって思われるから

ああ… 内臓が押し上げられるような… でも腸の辺りが疼くような… 不思議な感じです…

ひぁ… セイバーが上から…

く…う… 突き上げられるこの感覚… まだちょっと慣れないので 苦しいです…

セイバー… 無理しなくて いいんだよ?

大丈夫! 少しずつ 動いてみます…

それじゃあこっちを刺激して 気持ち良くしてあげるね

そこは! 駄目です凛… またおかしくなってしまう…

何言ってるの おかしくする私にしてるんじゃない 早く喘れたいんでしょう?

うう…恥ずかしいのに…

くっ… 凛坂の指が 直腸に当たって…

うん 士郎のおちんちん 凄く硬くなってる…

そろそろ出そう…

出来るだけ無駄なく注ぎ込むからね

子種…

シロウの子種…

えっ?

出してください!

沢山…いっぱい出して

全部…ありったけ出すからな!

熱い…士郎のあちんちんセイバーの中がビクビクしてる…

くぅっ!

全部…ありったけ出すからな!

ああ…子種が中にもっといっぱいください…

うん分かってるよ

嬉しい…中に沢山出してもらえてとても…満たされています…

気持ちを込めて…セイバーの為に出したんだ…

シロウ…ありがとうございましたわたくしです…

こころから好きだよ…セイバー…

私の中に下さい…

セイバー!

セイバー!

…士郎は
寝たみたいね

沢山頑張って
くれましたから

セイバーも
お疲れ様〜

私は大丈夫です
士郎が
[illegible]

それどころか
これほど
満ち足りたのは
初めての事です

そっか
なら良かった

凛こそ…

貴方が
あれほどまでに
淫らに乱れるとは
思わなかった

ははは…
アーチャーに
色々と
仕込まれたから…

何だか随分と
楽しんじゃったわ

士郎と顔合わせるの
ちょっと
照れるわね

どちらかと
言うと
シロウの方が
うろたえそう
ですが

それも
そうね

そうだ

お腹の方は大丈夫ですか？

お腹？

全然大丈夫よ心配しないで

…本当にシロウと育てるのですか？

…正直貴方が少し羨ましい

…セイバーにも出来ると良いわね士郎との子供

ん――悪い性格で言っただけなんだけど

でも♥それもいいかもね

勝ちましょう
凛
ええ
もちろん
私達の大切な人達の…
未来の為に！

その後

元の時代に戻ったセイバー。

剣を妖精に返し、王の責務を果たし終えた時。

アルトリアは士郎との子を宿した。

そして死の間際、湖の妖精に無事取り上げられ。

母となった少女は、一人の忠実な騎士に看取られた。

その後、妖精に育てられたその子供。

とある魔術師の養子となる。

後世

魔道の名門となったその子孫が

時計塔にて凛と出会う。

時代を超えた邂逅だった。

※この話はいずれ改めて書きたいと思う。

SLASH
恋愛漫画家 / 青年向